

日本梱包運輸倉庫株式会社 様 [三芳営業所]



日本梱包運輸倉庫株式会社
NIPPON KONPO UNYU SOKO CO.,LTD.

設立：1953年(昭和28年)
本社所在地：東京都中央区明石町6番17号
事業内容：倉庫、通関、航空運送代理店、内外物資の輸出入・販売、貨物自動車運送、貨物利用輸送、等
HPアドレス：<https://www.nikkon.co.jp/>

移動ラックを導入し、保管効率と作業効率の向上、省人化を実現。

日本梱包運輸倉庫様は、全国89拠点を構え、梱包、運輸、倉庫サービスを提供する総合物流会社です。関東圏の主要拠点の1つで、約60年の歴史がある三芳営業所の倉庫を2023年10月にリニューアルしました。従来は平屋の倉庫で、製品を縦列で平置き・段積みしていたため、奥の製品を取り出す際は、毎回手前の製品を1個ずつ移動させ、出荷する製品を取り出し終わったらまた元の場所に戻す作業が発生していました。新倉庫にはトヨタL&Fのパートナーラック移動タイプを導入しました。導入の決め手はコストと保管効率の良さでした。保管量は従来比175%増になり、レイアウト変更を考えたときに、レールレス式で移設が可能なことも導入のポイントになりました。導入効果は、荷物のサイズに合わせて、3～4段の3種類の保管ができる設備を導入し、保管効率がアップし、視認性も良くなり、リーチフォークリフトのRinovaが旋回できる通路も確保されており、作業効率が向上しました。省人化では、約3名の削減を実現しています。また、外部操作できない仕組みを構築し、作業者がラックの中にいて、挟まれるリスクを低減できました。今後は、自動運転フォークリフトと連携させ、作業者がいなくても出入庫作業が行える仕組みの構築を目指していきます。

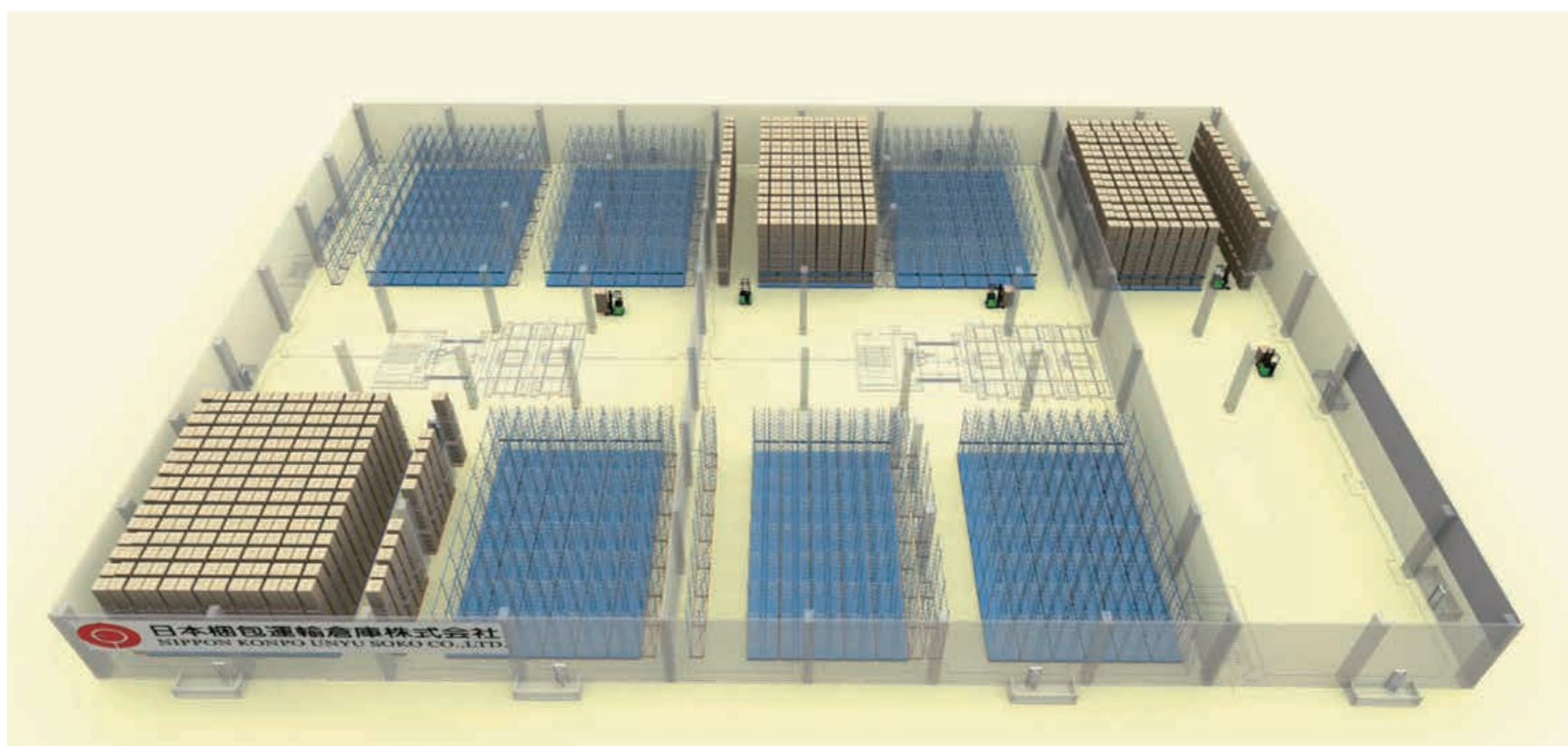
導入商品

- パートナーラック 移動タイプ(移動ラック)

導入効果

- 平置きから上部空間も活用できるラック保管に変更し、保管効率175%増を実現
- 作業効率の向上で、残業時間の削減と3名の省人化を実現
- レールレス式の移動ラックのため、レイアウト変更時の移設が可能に

■ 三芳営業所概要 (4F)



荷物サイズに合わせた3種類の移動ラックの導入で、効率的な物流倉庫を実現



上部空間を有効活用でき、従来の平置き・段積み に比べて保管効率が約175%向上。
荷物の視認性も良くなり、作業効率も向上。



出入庫時の必要なラックのみを開閉でき、限られたスペースを有効活用。ラックの開閉は、ボタン1つで簡単に操作可能。



床面工事が不要なレールレス式移動タイプのため、レイアウト変更時の移設が容易。



リーチフォークリフトが旋回できる通路スペースを確保。また、ラックの中に作業者がいるときには外部でボタンを押してもラックが作動しない仕組みを採用。



各種センサーなどで異常を検知した場合、全台車が停止。

